

対策が必要な温泉の絞り込み等に関する論点

① 対策が必要な温泉の絞り込み

a. 新規施設、既存施設 (*新規と既存で別の方法をとるべきか)

【選択肢(例)】

- ・ 全施設で可燃性ガスを測定
- ・ 可能性が高い地域の施設に限り、可燃性ガスを測定
- ・ 可能性が極めて低い地域の施設を除き、可燃性ガスを測定

※ 即座には測定しない場合、10年毎の成分分析に併せ測定すべきか

b. 掘削時

- ・ 事前測定で対象を限定することはできないため、地域を限定するか、全掘削を対象とするか

② 可燃性ガスの測定方法、対策の必要性の判断基準

- ・ 何(温泉水、温泉井周辺の空気等)を測定するか
- ・ 対策が必要な温泉の判断基準

③ 掘削時の安全対策

- ・ 東京都のガイドラインの内容の確認

④ 源泉の仕上げ、廃止時の安全対策

- ・ 対策の技術的内容
- ・ 自噴していない温泉の危険の程度

⑤ 関連する諸問題へ対応

- ・ 「温泉」以外で、可燃性ガスによる安全対策が必要な分野
- ・ 温泉で「可燃性ガス」以外で、安全対策が必要な分野